



はじめに

SaaS Backup For Salesforce

NetApp
January 31, 2022

目次

はじめに	1
無料トライアルを開始する	1
有料購読の開始	12

はじめに

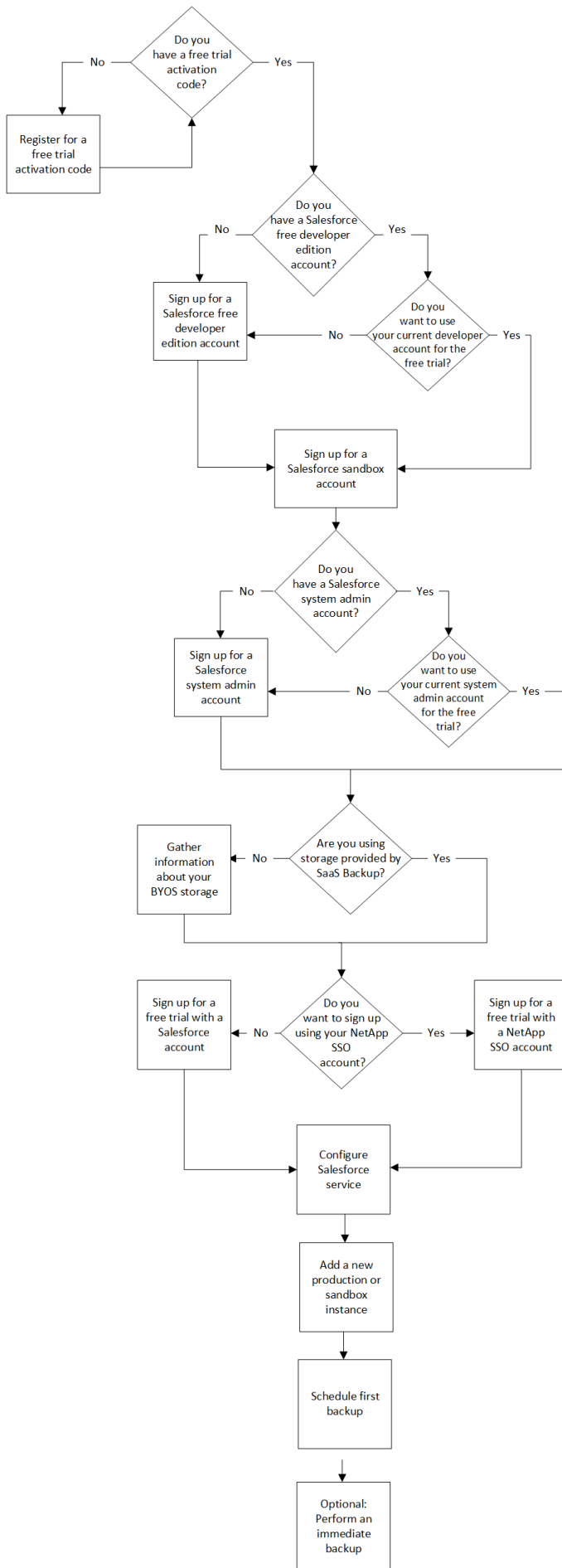
無料トライアルを開始する

SaaS Backup for Salesforce の無償トライアルを開始するためのワークフロー

SaaS Backup for Salesforce の無償トライアルを開始するには、次の手順を実行する必要があります。

手順

1. に注意してください ["無償トライアルの制限"](#)。
2. に登録します ["無償トライアルアクティベーションコード"](#)。
3. 必要に応じて、にサインアップします ["Salesforce 開発者エディションのアカウント"](#)。
4. 必要に応じて、にサインアップします ["Salesforce サンドボックスアカウント"](#)。
5. をまだ持っていない場合 ["Salesforce システム管理者アカウント"](#)をクリックして作成します。
6. SaaS Backup が提供する Amazon S3 ストレージを使用するか、BYOS として Bring Your Own Storage (BYOS) オプションを使用するかを決定し、必要に応じて ["ストレージに関する情報を収集します"](#)。
7. に登録します ["SaaS Backup for Salesforce の無償トライアルをご利用いただけます"](#) Salesforce アカウントまたはネットアップの SSO アカウントを使用している場合。
8. ["Salesforce サービスを設定します"](#)。
9. ["本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスを追加します"](#)。
10. ["最初のバックアップのスケジュールを設定します"](#)。
11. 必要に応じて、["データをすぐにバックアップ"](#)。



無償トライアルの制限

無料トライアルアカウントには、次の制限事項が適用されます。

- 最大 1 つの本番インスタンス。
- 最大 1 つのサンドボックスインスタンス。
- 1 日に最大 3 つの即時バックアップを作成できます。
- 最初の 30 日間だけバックアップを自動化。
- 無償トライアル終了後の 15 日間の猶予期間中は、スケジュールされたバックアップは実行できません。

SaaS Backup for Salesforce の無償試用版へのアクティベーションコードの登録

SaaS Backup for Salesforce を使い始めるには、アクティベーションコードを取得してからサインアップする必要があります。営業担当者またはチャネルパートナーからアクティベーションコードを受け取っている可能性があります。有効化されていない場合は、無償トライアルにサインアップすることでアクティベーションコードを入手できません。

手順

1. をクリックします ["こちらをご覧ください"](#) をクリックして、SaaS Backup for Salesforce の無償トライアル URL にアクセスしてください。
2. 必要な登録情報を入力し、* Submit * をクリックします。

フォームを送信すると、無料試用版のアクティベーションコードが記載された電子メールが届きます。Salesforce で SaaS Backup にサインアップする際に、アクティベーションコードが必要になります。

Salesforce の無料開発者エディションアカウントにサインアップします

無料の Salesforce 開発者エディションアカウントを使用すると、Salesforce と SaaS Backup for Salesforce の最新機能をご確認いただけます。

手順

1. をクリックします ["こちらをご覧ください"](#) 無料の Salesforce 開発者エディションアカウントを開始します。
2. 必要な情報を入力し、利用規約に同意して、「* サインアップ *」をクリックしてサインアッププロセスを完了します。
3. メールアカウントに移動して確認し、新しいアカウントを確認します。表示されるリンクから、アカウントのパスワードを作成するように求められます。
4. 新しく作成した Salesforce 開発者アカウントでは、Lightning の体験とクラシックな体験を切り替えることができます。クラシックな体験に切り替えるには、[プロファイルの表示] をクリックし、[*] をクリックして [Salesforce クラシックに切り替える *] をクリックします。これはオプションです。

注：新しいアカウントには、サンプルのオブジェクトとレコードがあらかじめ登録されています。

Salesforce の無料サンドボックスアカウントにサインアップします

Salesforce サンドボックスアカウントを使用すると、本番環境に導入する前に、テスト環境で SaaS Backup for Salesforce の機能をテストできます。

手順

1. をクリックします ["こちらをご覧ください"](#) 無料の Salesforce サンドボックスアカウントを起動します。
2. 必要な情報を入力し、利用規約に同意して、「* サインアップ *」をクリックしてサインアッププロセスを完了します。
3. メールアカウントに移動して確認し、新しいサンドボックスアカウントを確認します。表示されるリンクから、アカウントのパスワードを作成するように求められます。
4. 新しく作成した Salesforce サンドボックスアカウントでは、Lightning の体験とクラシックな体験を切り替えることができます。クラシックな体験に切り替えるには、[プロファイルの表示] をクリックし、[*] をクリックして [Salesforce クラシックに切り替える *] をクリックします。これはオプションです。
5. [* Setup * (セットアップ*)] タブをクリックします。
6. 検索バーで「* Users *」を検索し、「* Users *」を選択します。ユーザープロファイル * システム管理者 * の名前は、このアカウントの電子メールです。
7. この電子メールを選択し、* パスワードをリセット * します。これは、サインアップではログインするための電子メールとパスワードが提供されないため、必須の手順です。
8. パスワードをリセットしたら、この電子メールとパスワードを使用してサンドボックスにログインできます。



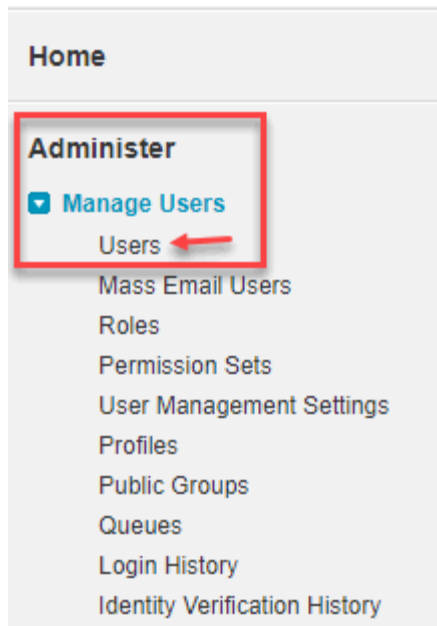
新しいアカウントには、サンプルのオブジェクトとレコードがあらかじめ入力されています。

Salesforce システム管理者アカウントを作成する

SaaS Backup for Salesforce にサインアップすると、既存の Salesforce システム管理者アカウントを使用するか、新しいアカウントを作成することができます。

手順

1. にログインします ["Salesforce の場合"](#) 既存のシステム管理者アカウントを使用します。
2. クラシックな体験に切り替えるには、[プロファイルの表示] をクリックし、[*] をクリックして [Salesforce クラシックに切り替える *] をクリックします。これはオプションです。
3. [* Setup * (セットアップ*)] タブをクリックします。
4. [Administer (管理)] で [Manage Users (ユーザーの管理)] をクリックし、[* Users (ユーザー)]



をクリックします。

5. [Users] の下にある [New User*] をクリックします。
6. 次のガイダンスに従って、必要な情報を入力します。
 - a. * Role * は空のままにしておきます。
 - b. [ユーザーライセンス *] で、[*Salesforce] を選択します。
 - c. 「* プロファイル」で「* システム管理者 *」を選択します。
 - d. 次の点を確認します。☒ チェックボックスがオンになっている"] マーケティング ☒ チェックボックスがオンになっている"] オフラインです ☒ チェックボックスがオンになっている"] サービスクラウド ☒ チェックボックスがオンになっている"] Salesforce CRM のコンテンツユーザ。
7. [保存 (Save)] をクリックします。
8. [* ユーザー *] で、新しく作成したアカウントをクリックし、[パスワードのリセット *] をクリックします。
9. メールアカウントに移動して確認し、新しいアカウントを確認します。表示されるリンクから、アカウントのパスワードを作成するように求められます。
10. にログインします "Salesforce の場合" 新しいアカウントのクレデンシャルを使用してアカウントをアクティブ化します。

Bring Your Own Storage (BYOS) オプションに関する情報を収集します

Amazon S3 を使用する場合は、サインアップ前に情報を収集する必要はありません。独自の Amazon S3 バケットを提供している場合は、サインアップの前にストレージに関する次の情報を収集する必要があります。

- バケット名
- 地域
- アクセスキー

- ・ シークレットキー

SaaS Backup for Salesforce の無償トライアルに登録してください

Salesforce またはネットアップの SSO アカウントを使用して、SaaS Backup に登録できます。

サインアッププロセスを完了するには、SaaS Backup ライセンスを購入したときにアクティベーションコードを提供するか、無料試用版にサインアップしたときに提供されたアクティベーションコードを入手する必要があります。

Salesforce を使用して SaaS Backup にサインアップする

手順

1. Web ブラウザに SaaS Backup の URL を入力します。https://saasbackup.netapp.com[]
2. ページの下部にある **[Signup** （サインアップ）**]** をクリックします。
3. 地域を選択します。
4. 利用規約を読み、同意します。
5. Salesforce をクリックします。



6. システム管理者権限を持つ Salesforce アカウントのユーザー名とパスワードを入力し、* ログイン * をクリックします。
7. **[Allow]** をクリックして、Salesforce 組織に SaaS バックアップアクセスを許可します。

Allow Access?

QA1 is asking to:

- Access your basic information
- Access and manage your data
- Provide access to your data via the Web
- Access and manage your Chatter data
- Provide access to custom applications
- Allow access to your unique identifier
- Access custom permissions
- Access and manage your Wave data
- Access and manage your Eclair data
- Perform requests on your behalf at any time

Do you want to allow access for
sfdccustom@gmail.com? (Not you?)

Deny

Allow

To revoke access at any time, go to your personal settings.

8. 登録フォームに必要事項を入力し、 [* サインアップ *] をクリックします。
9. [*Salesforce] をクリックします。
10. 試用版ライセンスをお持ちの場合は、 * Preview * をクリックして、アクティベーションコードを入力し、 * Next * をクリックします。
11. バックアップストレージオプションを選択します。

BYOS（独自のストレージ）や SaaS Backup のストレージを利用することもできます。SaaS Backup でサポートされるのは Amazon S3 のみです。

12. SaaS Backup のストレージを選択した場合は、地域を選択してください。

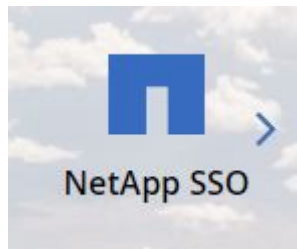
BYOS オプションを選択した場合は、要求された情報を入力し、 * 接続テスト * をクリックします。

13. 「 * 次へ * 」をクリックします。
14. [保存（ Save ）] をクリックします。

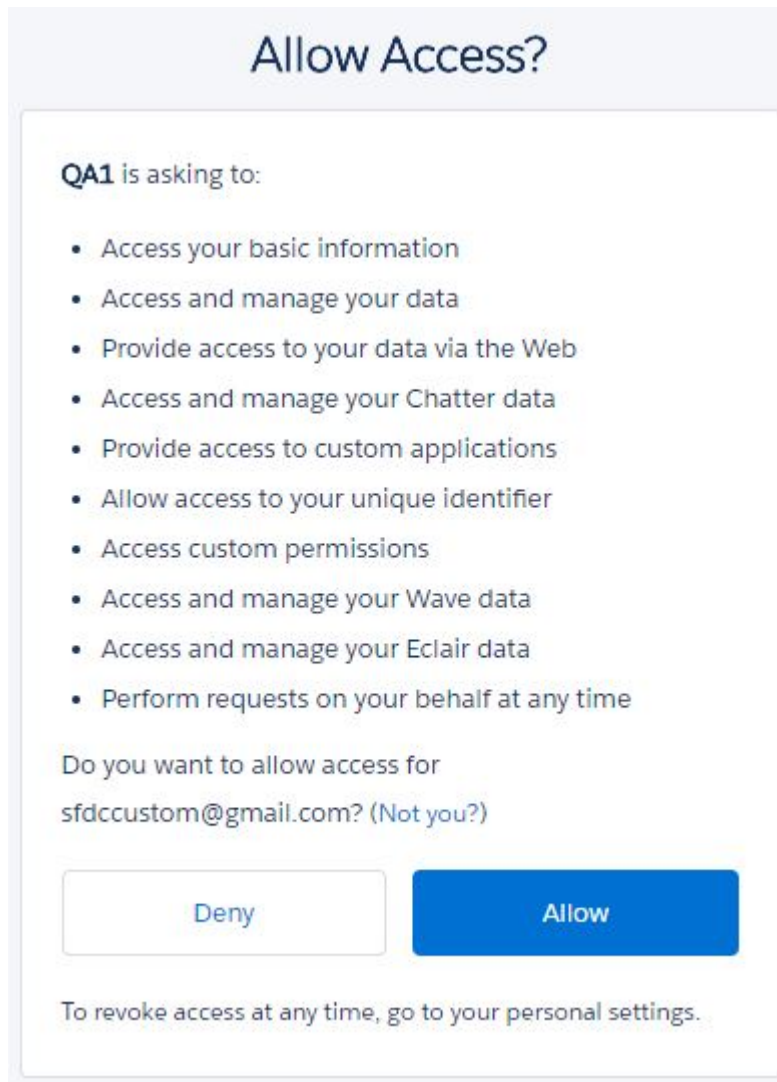
NetApp SSO を使用した SaaS Backup への登録

手順

1. Web ブラウザに SaaS Backup の URL を入力します。https://saasbackup.netapp.com[]
2. エンドユーザライセンス契約に同意します。
3. ページの下部にある **[Signup** (サインアップ)] をクリックします。
4. NetApp SSO をクリックします。



5. ネットアップの SSO とパスワードを入力し、 * login * をクリックします。
6. **[Allow]** をクリックして、Salesforce 組織に SaaS バックアップアクセスを許可します。



7. 登録フォームに必要事項を入力し、 [* サインアップ *] をクリックします。
8. [*Salesforce] をクリックします。

9. 試用版ライセンスをお持ちの場合は、* Preview * をクリックして、アクティベーションコードを入力し、* Next * をクリックします。

10. バックアップストレージオプションを選択します。

BYOS（独自のストレージ）や SaaS Backup のストレージを利用することもできます。SaaS Backup でサポートされるのは Amazon S3 のみです。

11. SaaS Backup のストレージを選択した場合は、地域を選択してください。

BYOS オプションを選択した場合は、要求された情報を入力し、* 接続テスト * をクリックします。


12. 「* 次へ *」をクリックします。

13. [保存（Save）] をクリックします。


Salesforce サービスを設定します

SaaS Backup for Salesforce に登録したら、Salesforce サービスを設定する必要があります。

手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします  SERVICES

2. をクリックします  サービスを追加します。

3. 
 [*Salesforce] を選択します。

4. サブスクリプションタイプを選択します。

5. アクティベーションコードを入力します。

6. バックアップ先を選択します。

7. 「* 次へ *」をクリックします。

8. [保存（Save）] をクリックします。

新しいプロダクションインスタンスまたはサンドボックスインスタンスの追加

SaaS Backup for Salesforce を設定したら、新しい本番用インスタンスまたはサンドボックスインスタンスを追加します。

手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。  SERVICES


2. プロダクションインスタンスを追加する場合は、* プロダクションインスタンス * をクリックしま

す。



サンドボックスインスタンスを追加する場合は、

* サンドボックスインスタンス * をクリックします。

3. 右上にある青いアイコンをクリックします  新しいインスタンスを追加します。
4. [組織の追加 *] で、[送信 *] をクリックします。
5. システム管理クレデンシャルを入力してインスタンスを追加します。本番環境用組織は、自動的に階層 1 のバックアップポリシーに追加され、即時バックアップがスケジュールされます。

バックアップのスケジュール設定またはバックアップ頻度の変更

SaaS Backup for Salesforce でサンドボックスインスタンスを追加すると、デフォルトでは、サンドボックス内のすべてのデータが保護されたバックアップ階層に手動で移動するまで保護されません。サンドボックスインスタンスまたは本番環境インスタンスのデータを保護した後は、いつでも別のバックアップ階層に移動できます。

手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。



2. プロダクションインスタンス内の組織を移動する場合は、* プロダクションインスタンス * をクリックします。



サンドボックスインスタンスで組織を移動する場合は、[* サンドボックスインスタンス *] をクリックします。



3. 移動する組織に適したインスタンスカテゴリを選択します。
 - 移動する組織が現在バックアップポリシーで保護されている場合は、上記の * 保護インスタンス * の数をクリックします。
 - 移動する組織のバックアップステータスが保留中の場合は、上記の * 保留中インスタンス * をクリックします。
 - 移動する組織が現在バックアップポリシーで保護されていない場合は、上記の * 保護されていないインスタンス * をクリックします。
4. 新しい階層を選択します。サンドボックスインスタンスでは、ティア 2 とティア 3 のバックアップのみを使用できます。サンドボックスインスタンスは、階層 1 のポリシーに基づいてバックアップすることはできません。本番インスタンスは、階層 1 ポリシーに含めることも、保護しないこともできます。本番環境インスタンスは、階層 2 または階層 3 のポリシーに基づいてバックアップすることはできません。組織が

新しいバックアップ階層に移動されます。


即時バックアップを実行する

データ保護に必要と判断した場合は、本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスのバックアップをすぐに実行できます。



SaaS Backup for Salesforce の試用版では、1 日に 3 回の即時バックアップしか実行できません。

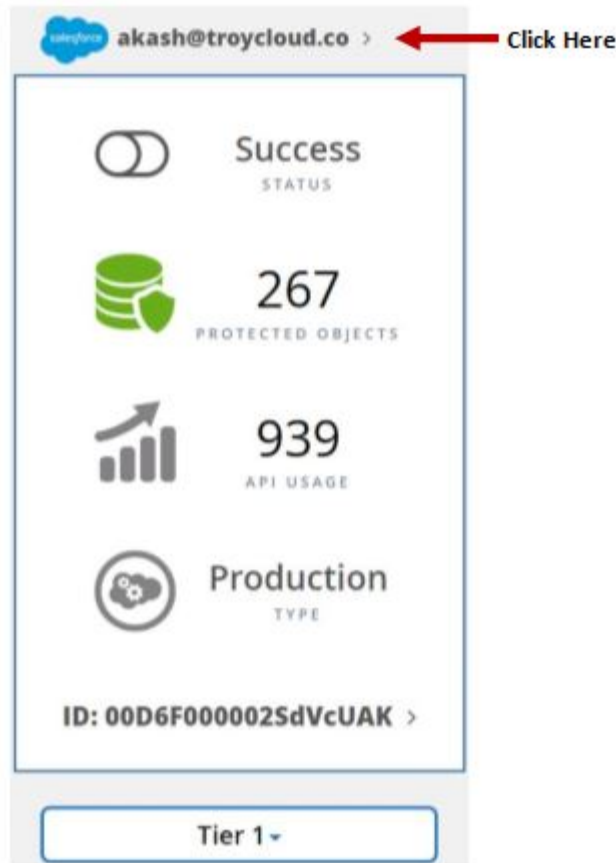
手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。  SERVICES
2. [* プロダクションインスタンス *] または [* サンドボックスインスタンス *] をクリックしま

す。



3. 今すぐバックアップする正しいインスタンスを選択してください。
 - a. バックアップするインスタンスがバックアップポリシーで現在保護されている場合は、上記の * 保護されているインスタンス * をクリックします。
 - b. バックアップするインスタンスのバックアップ・ステータスが保留中の場合は、上記の * 保留中インスタンス * をクリックします。
 - c. バックアップポリシーによって現在保護されていないインスタンスがある場合は、上記の * 保護されていないインスタンス * をクリックします。
- 4.




組織の名前をクリックします。

5. [今すぐバックアップ] をクリックします。選択した組織がバックアップキューに配置されていることを示すメッセージが表示されます。
6. [Submit（送信）] をクリックします。

無償トライアルからアップグレードしています

無償トライアルからアップグレードするには、有料サブスクリプションで発行されたシリアル番号が必要です。

手順

1. 。
ダッシュボードの左上で、をクリックします。
2. [サービス設定 *] で、[*Salesforce] を選択します。
3. [サブスクリプションの詳細 *] の横にある [*更新 *] をクリックします。
4. 「* NetApp License *」を選択します。
5. ライセンスのユーザ名、パスワード、およびシリアル番号を入力します。
6. [*サブスクリプションの検証 *] をクリックします。ライセンス情報の確認が表示されます。

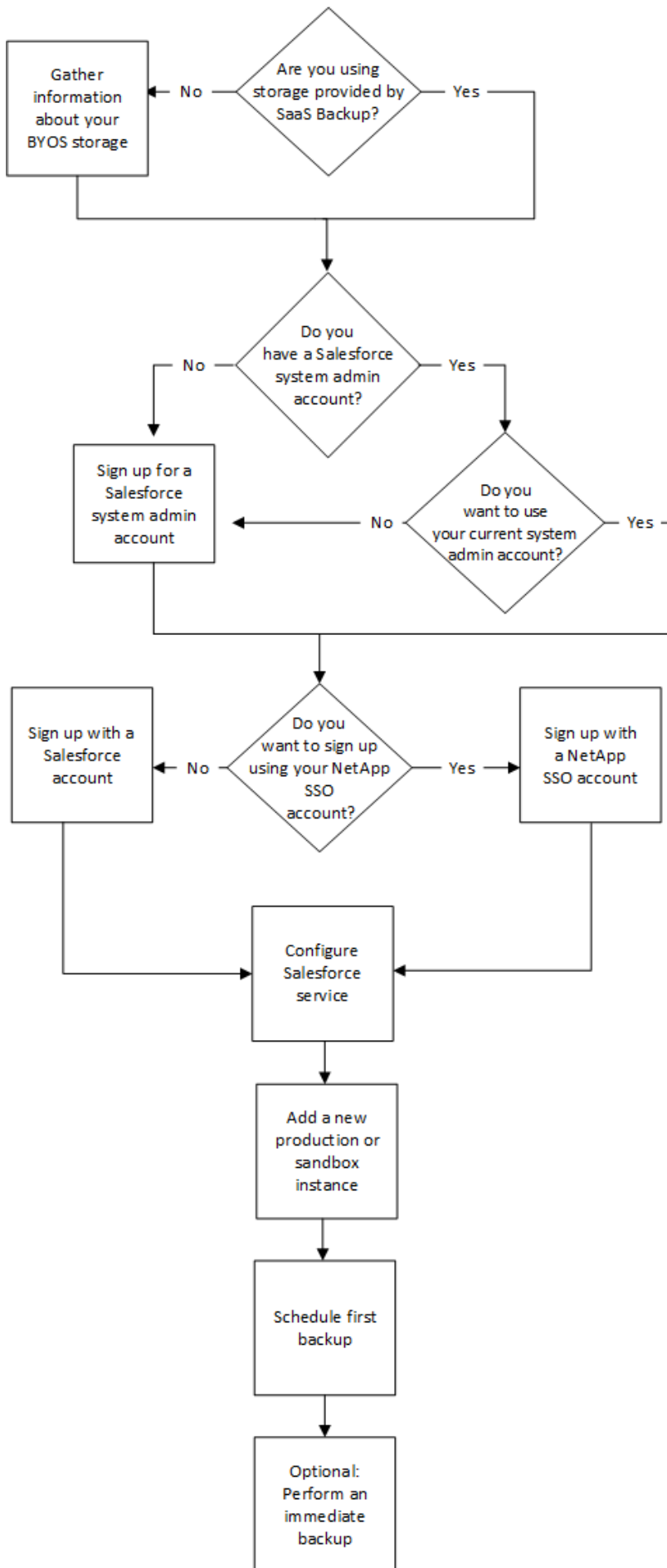
有料購読の開始

SaaS Backup for Salesforce の有料サブスクリプションを開始するためのワークフロー

SaaS Backup for Salesforce の有料サブスクリプションを開始するには、次の手順を実行する必要があります。

手順

1. アクティベーションコードを用意します。
2. SaaS Backup が提供する Amazon S3 ストレージを使用するか、BYOS として Bring Your Own Storage (BYOS) オプションを使用するかを決定し、必要に応じて ["ストレージに関する情報を収集します"](#)。
3. をまだ持っていない場合 ["Salesforce システム管理者アカウント"](#)をクリックして作成します。
4. に登録します ["SaaS Backup for Salesforce の有料サブスクリプション"](#) Salesforce アカウントまたはネットアップの SSO アカウントを使用している場合。
5. ["Salesforce サービスを設定します"](#)。
6. ["本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスを追加します"](#)。
7. ["最初のバックアップのスケジュールを設定します"](#)。
8. 必要に応じて、["データをすぐにバックアップ"](#)。



Bring Your Own Storage （ BYOS ） オプションに関する情報を収集します

Amazon S3 を使用する場合は、サインアップ前に情報を収集する必要はありません。独自の Amazon S3 バケットを提供している場合は、サインアップの前にストレージに関する次の情報を収集する必要があります。

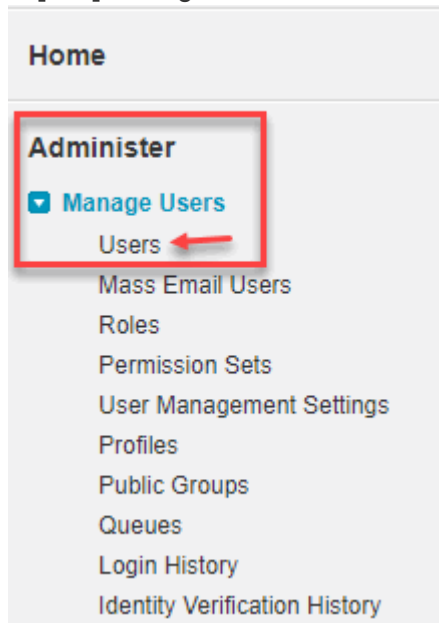
- バケット名
- 地域
- アクセスキー
- シークレットキー

Salesforce システム管理者アカウントを作成する

SaaS Backup for Salesforce にサインアップすると、既存の Salesforce システム管理者アカウントを使用するか、新しいアカウントを作成することができます。

手順

1. にログインします **"Salesforce の場合"** 既存のシステム管理者アカウントを使用します。
2. クラシックな体験に切り替えるには、[プロファイルの表示] をクリックし、[*] をクリックして [Salesforce クラシックに切り替える *] をクリックします。これはオプションです。
3. [* Setup * （セットアップ*）] タブをクリックします。
4. **[Administer （管理）]** で **[Manage Users （ユーザーの管理）]** をクリックし、[* Users （ユーザー）]



をクリックします。

5. **[Users]** の下にある **[New User*]** をクリックします。
6. 次のガイダンスに従って、必要な情報を入力します。
 - a. * Role * は空のままにしておきます。
 - b. [ユーザーライセンス *] で、[*Salesforce] を選択します。
 - c. 「* プロファイル」で「* システム管理者 *」を選択します。

d.

次の点を確認します。 ☒ チェックボックスがオンになっている"] マーケティング ☒ チェックボックスがオンになっている"] オフラインです ☒ チェックボックスがオンになっている"] サービスクラウド ☒ チェックボックスがオンになっている"] Salesforce CRM のコンテンツユーザ。

7. [保存 (Save)] をクリックします。
8. [* ユーザー *] で、新しく作成したアカウントをクリックし、[パスワードのリセット *] をクリックします。
9. メールアカウントに移動して確認し、新しいアカウントを確認します。表示されるリンクから、アカウントのパスワードを作成するように求められます。
10. にログインします "Salesforce の場合" 新しいアカウントのクレデンシャルを使用してアカウントをアクティブ化します。

SaaS Backup for Salesforce の有料サブスクリプションへの登録

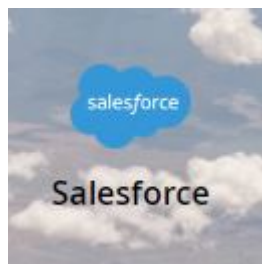
SaaS Backup with Salesforce の有料サブスクリプションに登録するか、ネットアップの SSO アカウントで登録できます。

サインアッププロセスを完了するには、SaaS Backup ライセンスを購入したときにシリアル番号が提供されているか、無償トライアル版にサインアップしたときに提供されたアクティベーションコードが必要です。

Salesforce を使用して SaaS Backup にサインアップする

手順

1. Web ブラウザに SaaS Backup の URL を入力します。https://saasbackup.netapp.com[]
2. ページの下部にある [Signup (サインアップ)] をクリックします。
3. 地域を選択します。
4. 利用規約を読み、同意します。
5. Salesforce をクリックします。



6. システム管理者権限を持つ Salesforce アカウントのユーザー名とパスワードを入力し、* ログイン * をクリックします。
7. [Allow] をクリックして、Salesforce 組織に SaaS バックアップアクセスを許可します。

Allow Access?

QA1 is asking to:

- Access your basic information
- Access and manage your data
- Provide access to your data via the Web
- Access and manage your Chatter data
- Provide access to custom applications
- Allow access to your unique identifier
- Access custom permissions
- Access and manage your Wave data
- Access and manage your Eclair data
- Perform requests on your behalf at any time

Do you want to allow access for
sfdccustom@gmail.com? (Not you?)

Deny

Allow

To revoke access at any time, go to your personal settings.

8. 登録フォームに必要事項を入力し、 [* サインアップ *] をクリックします。

9. [*Salesforce] をクリックします。

有料サブスクリプションをお持ちの場合は、 [* ライセンス済み *] をクリックします。ユーザー名、パスワード、ライセンスのシリアル番号を入力し、 [サブスクリプションの検証] をクリックします。

10. バックアップストレージオプションを選択します。

BYOS（独自のストレージ）や SaaS Backup のストレージを利用することもできます。SaaS Backup でサポートされるのは Amazon S3 のみです。

11. SaaS Backup のストレージを選択した場合は、地域を選択してください。

BYOS オプションを選択した場合は、要求された情報を入力し、 * 接続テスト * をクリックします。

12. 「 * 次へ * 」をクリックします。

13. [保存（Save）] をクリックします。

NetApp SSO を使用した SaaS Backup への登録

手順

1. Web ブラウザに SaaS Backup の URL を入力します。https://saasbackup.netapp.com[]
2. エンドユーザライセンス契約に同意します。
3. ページの下部にある **[Signup** (サインアップ)] をクリックします。
4. NetApp SSO をクリックします。



5. ネットアップの SSO とパスワードを入力し、* login * をクリックします。
6. **[Allow]** をクリックして、Salesforce 組織に SaaS バックアップアクセスを許可します。

Allow Access?

QA1 is asking to:

- Access your basic information
- Access and manage your data
- Provide access to your data via the Web
- Access and manage your Chatter data
- Provide access to custom applications
- Allow access to your unique identifier
- Access custom permissions
- Access and manage your Wave data
- Access and manage your Eclair data
- Perform requests on your behalf at any time

Do you want to allow access for
sfdccustom@gmail.com? (Not you?)

DenyAllow

To revoke access at any time, go to your personal settings.

7. 登録フォームに必要事項を入力し、[* サインアップ *] をクリックします。

8. [*Salesforce] をクリックします。

有料サブスクリプションをお持ちの場合は、[* ライセンス済み *] をクリックします。ユーザー名、パスワード、ライセンスのシリアル番号を入力し、[サブスクリプションの検証] をクリックします

9. バックアップストレージオプションを選択します。

BYOS（独自のストレージ）や SaaS Backup のストレージを利用することもできます。SaaS Backup でサポートされるのは Amazon S3 のみです。

10. SaaS Backup のストレージを選択した場合は、地域を選択してください。

BYOS オプションを選択した場合は、要求された情報を入力し、* 接続テスト * をクリックします。

11. 「 * 次へ * 」 をクリックします。

12. [保存（ Save ）] をクリックします。

即時バックアップを実行する

データ保護に必要と判断した場合は、本番インスタンスまたはサンドボックスインスタンスのバックアップをすぐに実行できます。

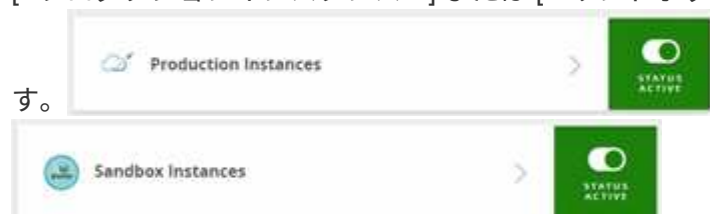


SaaS Backup for Salesforce の試用版では、1 日に 3 回の即時バックアップしか実行できません。

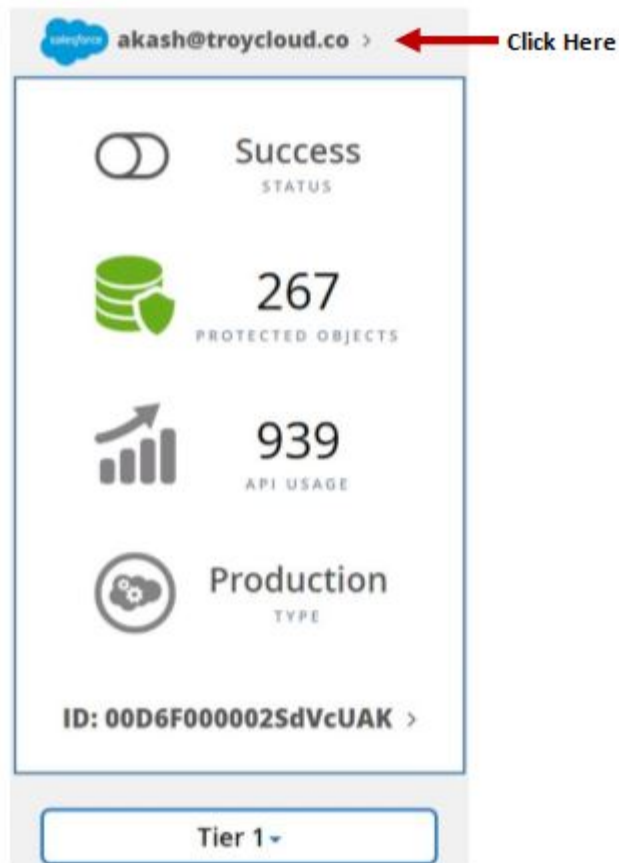
手順

1. 左ペインのナビゲーションで、* サービス * をクリックします。
2. [* プロダクションインスタンス *] または [* サンドボックスインスタンス *] をクリックしま

す。



3. 今すぐバックアップする正しいインスタンスを選択してください。
 - a. バックアップするインスタンスがバックアップポリシーで現在保護されている場合は、上記の * 保護されているインスタンス * をクリックします。
 - b. バックアップするインスタンスのバックアップ・ステータスが保留中の場合は、上記の * 保留中インスタンス * をクリックします。
 - c. バックアップポリシーによって現在保護されていないインスタンスがある場合は、上記の * 保護されていないインスタンス * をクリックします。
- 4.



組織の名前をクリックします。

5. [今すぐバックアップ] をクリックします。選択した組織がバックアップキューに配置されていることを示すメッセージが表示されます。
6. [Submit（送信）] をクリックします。

Copyright Information

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.